

踊れ! 第九

Dancing Beethoven

オーバード・ホール 大ホール クロージング記念公演

ベートーヴェン
交響曲 第9番 ニ短調 Op.125「合唱付き」

Ludwig van Beethoven
Symphony No.9 in D minor Op.125, "Choral"

2025年11月15日(土) 13:00開演
11月16日(日) 13:00開演

※開場は開演の30分前。
※上演時間は75分を予定しております。途中休憩はありません。

チケット(全席指定・税込)

S席おとな 5,000円 / S席子ども(高校生以下) 2,500円

A席おとな 4,000円 / A席子ども(高校生以下) 2,000円

アスネット会員先行発売 8月15日(金)のみ / 一般発売 8月23日(土) から

プレイガイド

- アスネットカウンター TEL.076-445-5511 (オーバード・ホール 大ホール1階)
営業時間10:00～18:00 / 定休日 月曜(月曜が祝日の場合、翌平日休み)
- アスネットオンライン <https://www.aubade.or.jp> 24時間予約可能
- チケットぴあ [t.pia.jp](https://www.t.pia.jp) [Pコード:536-164]
- ローソンチケット [l-tike.com](https://www.l-tike.com) [Lコード:54090]

※未就学児の入場はご遠慮ください。
※車椅子席は事前予約が必要です。アスネットカウンターまでお問合せください。
※やむを得ない事情により、出演者が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

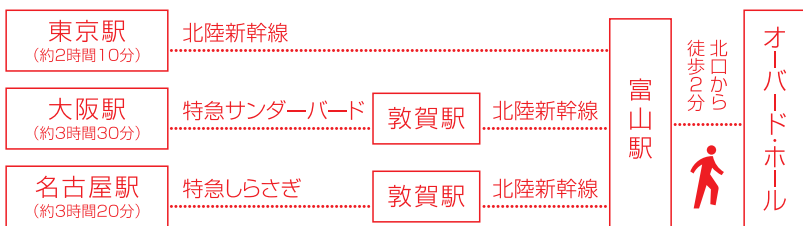
メセナ事業企画 実施予定!

※詳細は決まり次第、オーバード・ホール公式ホームページにてお知らせします。

アクセス

オーバード・ホール 大ホール 〒930-0858 富山市牛島町9-28(富山駅北口より徒歩2分)

電 車



自動車 北陸自動車道 富山I.Cより約6km。車で約20分

※オーバード・ホールには駐車場がありませんので、お近くの有料駐車場をご利用ください。公共交通機関のご利用をおすすめします。

オーバード・ホール 大ホール 長期休館のお知らせ

オーバード・ホール 大ホールは、改修工事のため、令和7年11月17日(月)から約2年間、休館いたします。
今回の改修は、利用者や顧客の皆様の安全と安心の確保を目的としています。
客席数やホールの外観・基本構造に大きな変更はなく、改修後もこれまでと変わらない空間で、皆様をお迎えいたします。
ご不便をおかけしますが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。
※なお、改修工事期間中も大ホール1階「アスネットカウンター」2階「ブルーカフェオリエンタル」は営業しております。

STAFF

演出・振付
森下真樹

音楽監督・指揮
辻博之

照明
三浦あさ子

音響
曾根朗(オーバード・ホール)

衣装
萩野緑

舞台監督
進士大輔(オーバード・ホール)

振付助手
中村駿

コレベティール
清水香里

オーケストラマネージャー
大田和樹(一般社団法人 富山ジュニアオーケストラ)

声楽マネージャー
西浦由佳里
渡辺洋輔

ステージコーディネーター
伊豆牧子

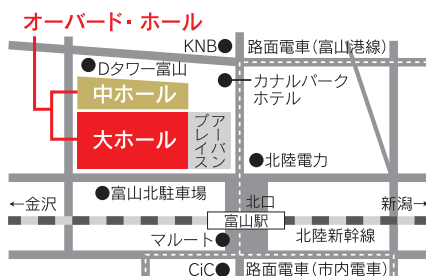
広報アートディレクション
Rikyu Design

制作
東ひなた(オーバード・ホール)
山本倫子(オーバード・ホール)
高橋里沙(オーバード・ホール)

制作統括
福岡美奈子(オーバード・ホール)

芸術監督
須藤晃(オーバード・ホール)

主催:(公財)富山市民文化事業団、富山市
共催:北日本新聞社、北日本放送
後援:富山県、富山県公立文化施設協議会
助成:令和7年度富山県企業メセナ文化ホール事業
特別協賛:トヨタモビリティ富山株式会社



Dancing Beethoven

演出・振付
森下真樹

音楽監督・指揮
辻博之

ダンス
森下真樹
森下スタンド ルードヴィヒ5
伊藤奨
黒田勇
島田淳平
中村駿
中村理

「踊れ! 第九」舞踊団

独唱・合唱
「踊れ! 第九」声楽アンサンブル

管弦楽
「踊れ! 第九」管弦楽団

2025.11/15[土]・16[日]

両日とも13:00開演(12:30開場)

オーバード・ホール 大ホール

オーバード・ホール 大ホール クロージング記念公演

令和7年度富山県企業メセナ文化ホール事業 / 特別協賛 トヨタモビリティ富山株式会社

お問合せ:(公財)富山市民文化事業団 総務企画課 TEL.076-445-5610(平日8:30～17:15)

オーバード・ホール

検索

ダンス、オーケストラ、合唱の共鳴。
ベートーヴェンに触発された新しい「第九」。

Orchestra



管弦楽 「踊れ!第九」 管弦楽団

本公演のために特別編成された管弦楽団。富山県内のプロ・アマ含む演奏家約80名で構成され、高校生・大学生など次代を担う若者も多数参加。コンサートマスターには、今国内で最も注目されている若手ヴァイオリニスト東亮汰を迎え、音楽監督・辻の指導のもと、世代を越えて「第九」を紡ぐ。



独唱・合唱 「踊れ!第九」 声楽アンサンブル

本公演のために特別編成されたアンサンブル。富山にゆかりのある声楽家に加え、音楽監督・辻が選出した第一線で活躍する実力派が集結。独唱と合唱をリレー形式で繋ぎ、壮大な「第九」の世界を表現力豊かに歌い上げる。

ソプラノ	アルト	テノール	バス
加藤恵	杉山紗英	金今陽祐	栗原峻希
高尾静佳	作道堇	澤武紀行	小林大祐
森下泉	鳥木弥生	新城匠	仲田尋一
山下千愛	西浦由佳里	辰巳陽彦	濱野杜輝
山元三奈	野上聡子	那須琢乙	森翔梧
鷺真紀	村椿彬子	古村勇樹	森琢磨
渡邊万貴	森川有紀	森清篤実	渡辺洋輔 (50音順)

音楽監督・指揮 辻 博之

Hiroyuki Tsuji

東京藝術大学声楽科を卒業し、2017年にオーケストラ・アンサンブル金沢で指揮者デビュー後、東フィル、新日フィル、読響、大フィル、九響、名フィル、札響、京響との共演やオペラ公演で活躍。近年は舞台音楽の作曲や演出も手がけ、クラシック以外の分野とも積極的にコラボレーション。子供向けコンサート・合唱団など、音楽普及活動にも力を注いでいる。

リズムに突き動かされたベートーヴェンの音楽
音符の全ては彼の耳に伝わらなくても
身体を震わせ発火するようだ
まさにダンス
電光が迸る様な第一楽章から始まり
リズムの波に巻き込まれて
ゆったりと胸に溢れる深愛の世界へ
そして神々しい爆発の渦への昇華
楽聖の音を視覚で味わえる日が来ようとは！
贅沢な日になる

「踊れ!第九」舞踊団

舞台経験者を対象にオーディションを行い、13歳から71歳まで世代も背景も異なる多彩なメンバーが顔をそろえた。森下の指導のもと稽古を重ねて、「第九」を全身で表現する。

青柳俊子、池田和人、池田陽子、入江佳澄、大辻典子、小泉沙織、柴田恵、新村真弓、炭谷心花、高木きょう子、竹本慧、津里真綾、中やよい、中田美峻緒、ニシムラヤスコ、ノジダイスケ、濱田こころ、保坂聖奈、堀朋子、三國幸恵、村井日和、室田勝、元井康平、米澤香（50音順）



ベートーヴェンの楽曲の中でも、交響曲第九番、通称「第九」は特に有名だ。ダンス作品にもよく用いられるが「全曲のダンス化」という大それた挑戦はなかなかない。生半可な振付では曲の力に埋もれてしまうからだ。しかし振付家・演出家の森下真樹は、曲に負けない強度とユーモアを交えたダンスで見事成功させ、人々を驚かせた。富山版はその進化形の上演となる。
森下と「森下スタンド」のダンサー5名、さらに24名の市民ダンサーが一体となり舞台を彩る。音楽監督の辻博之の指揮は作品に厚みを与え、富山の演奏家による特別編成オーケストラが音楽面を支える。しかも合唱団を置かず、28名の声楽家がリレー形式で歌い継ぐというユニークな演出も注目されている。「苦悩を突き抜けて歓喜へ」というベートーヴェンの言葉を体現する本公演は、改修工事で長期休館するオーバード・ホール 大ホールのクロージング記念公演でもある。そして富山市民にとって「第九」は60年にわたって様々な機会に歌い継いできた特別な曲なのだ。そうした文化の記憶を、ダンスと音楽の力で未来へと繋げていく記念碑的な舞台となるだろう。

舞踊評論家 乗越たかお

ダンス、オーケストラ、合唱の共鳴。

ベートーヴェンに触発された

新しい「第九」。

激動の時代を生き抜き、
200年の時を経てきた「第九」。
闇を光で照らす雄大なこの音楽は、
いまや人生を闘うための応援歌である。
オーケストラと歌とダンスがひとつに結集し、
新しい「第九」の物語が始まる。
さあ、ベートーヴェンの音楽をムシャムシャ食べて
血や肉に、魂に変えるぞ。
いま、ここにあるカラダを奮い起たせ、
全身で飲むの歌を歌い上げるのだ！

森下スタンド ルードヴィヒ5 *Morishita Stand Ludwig 5*

森下真樹がベートーヴェンの全交響曲を振付するプロジェクトに果敢に挑むダンサーズを「森下スタンド ルードヴィヒ」と命名。最強ダンサー5名が登場。



伊藤奨
Sho Ito



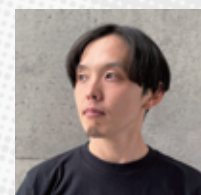
黒田勇
Yu Kuroda



島田惇平
Junpei Shimada



中村駿
Shun Nakamura



中村理
Masashi Nakamura

Dance

演出・振付 森下真樹

Maki Morishita

幼少期に転校先の友達作りで開発した遊びがダンスのルーツ。これまでに10か国30都市以上で作品を上演。様々な分野のアーティストとコラボし活動の場を広げる。音楽に拮抗するカラダへの挑戦としてベートーヴェンの楽曲に取り組む。全交響曲を踊ることを使命とする。周囲を一気に巻き込み独特な「間」からくる予測不能、奇想天外ワールドが特徴。2025年第19回日本ダンスフォーラム賞受賞。<http://maki-m.net/>

Vocal Performance